

法医学中間テスト① 2008.11.06

読みやすいかどうかも採点します。

1、医師はどのような場面で法医学を使うか。

2、体液を採取することにより分かることは何か。

3、Tardieu's spots(斑点)について述べなさい。

4、死斑が弱いのはどのような場合か。

5、表皮剥脱、革皮様化、ミイラの3つの言葉を用いて互いの関係を表す文を作りなさい。

6、検案時に目・眼(眼窩部の各構造)ではどのような所見をとるか。

2008 年度法医学中間テスト① 解答案

- 1 ・ 死亡診断書を書く際
 ・ 死体検案を行う際
 ・ 医療関連死
 ・ 生体検査

- 2 体液…血液、脳脊髄液、心嚢液、胸水、腹水、尿
 血液：薬毒物、低体温、体内出血（量）
 脳脊髄液：くも膜下出血、脳内出血
 心嚢液：炎症、出血、心臓破裂
 胸水：溺死、血胸、炎症
 腹水：出血、腹膜炎
 尿：尿閉、薬毒物

- 3 血液就下に伴って死斑と供にあらわれる、点状から数 mm、色は赤から紫黒色、死斑転移で死斑以外の部位にも現れる、

- 4 高度の貧血、大量出血(体内・体外とも)、水中死体、死後経過時間が短い間、肥満

- 5 表皮剥脱がなくても革皮様化して、強く乾燥すればミイラとなる

- 6 目の開閉、角膜混濁の程度、溢血点の有無、あればその程度、損傷の有無、ブラックアイ、瞳孔径(左右差・縮散瞳)